

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	新潟県新潟市中央公民館 電話： 025-224-2088
----------------	---------------------------------

1. 概要

事業名	憲法講座～「人権と差別」あなたはどう考えますか～
主催（共催）	新潟市中央公民館
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	①平成16年5月19日～6月16日 午前10時～12時 計4回 66人 ②平成16年5月19日～6月3日 午後6時30分～午後8時30分 計3回 25人
開催場所	新潟市中央公民館
対象	①、②とも一般市民30人
人権課題	人権全般、女性、障害者、同和問題

2. 事業内容

(1)事業の目的 「人権の世紀」21世紀を迎え、日本固有の同和問題をはじめとする人権問題解決のため、私たち一人ひとりが考え、実践していくことの大切さを学ぶとともに、すべての人の人権を尊重するという意識を高める機会とするため開催した。幅広い層の人から講座を受講していただきたく、第1回～第3回までは、昼の部と夜の部の2部構成で開講した。
--

(2)事業概要

・中央公民館を会場にして、午前の部・夜間の部を設けた。毎年憲法講座を開講しているが、今回は受講生同士の話し合いができるように、学習方法も講義形式だけではなく話し合いの形式の回も設けた。
・最終回に兵庫県より社会福祉法人「プロップステーション」理事長の竹中ナミ氏を招き、公開講座にして多くの人に聴いてもらうことのできる機会を設けた。
・平成5年からは特に人権と差別をテーマにしている。その中で同和問題についての講座は必ず取り入れるようにしている。今回は第3回目に取り入れた。

(2)-1 連携状況

(2)-2 特色・工夫した点（広報の方法も含む）

・広報は「市報にいがた春の講座特集号」に掲載。また、第4回目を公開講座にして、地方新聞に内容を掲載し、参加者を募集した。

(3)参加者の反応・事業の反響等

憲法講座を楽しみに毎年受講している参加者が多い。多くの人が参加している。今回は、講義形式だけではなく受講生同士が話し合いをする場面を設けたため、講師のお話を聴くだけでなく、受講生同士の活発な議論ができて、有意義な講座になったという感想があった。最終回の様子が翌日に地方新聞に掲載された。

(3)-1 反省点・今後の課題

平成15年度は、夜間のみの開催であったが、16年度は午前の部、夜間の部の2部にした。しかし、夜間の参加者が非常に少なく、2部構成での開催は今後検討していく必要があると思う。どうしても堅いイメージで捉えられ、敬遠されがちなテーマであるため、もう少し広報の仕方や内容に工夫していくこと（最近話題になっていることを取りあげる、参加型の講義を取りあげるなど）が必要であると思う。